令和7年度組織目標 知事協議概要

部 局 名	土木交通部
日 時	令和7年(2025年)4月17日(木) 13:50~15:00
場 所	特別会議室
出 席 者	知事、東副知事、岸本副知事、知事公室長、総合企画部長、総務部長、総務部管理監 土木交通部長、理事(公共事業調整担当)、次長(事務)、次長(技術)、技監(魅力ある公園・まちづくり担当)、管理監(交通政策担当)、流域政策局長、監理課長、技術管理課長、用地事業支援課長、交通戦略課長、県東部地域公共交通支援室長、道路整備課長、道路保全課長、都市計画課長、住宅課長、建築課長、流域政策局副局長(河港事業室長)、流域治水政策室長、河港管理室長、水源地域対策室長、砂防室長

発言者	発言概要
総務部長	シガパークの取組みを今年もさらに進めていただきたい。公園の種類も所管も色々あるが、どのように取組みを進めていこうとしているか、困っていることはあるか。び文公園のアクセスの課題に対してどのように進めていこうとしているか。
技監	令和5年度から取組みを始め、最初は各部から様々な意見があったが、協議を重ねるについて、趣旨を理解していただき、各部の連携も進んでいる。第2世代交付金の予算も付いてきたので、取組みを進めていけると考えている。
管理監	交通戦略課の目標の二つ目の項目にび文公園のアクセシビリティ向上検討を挙げている。大学はじめ関係者を巻き込みながら、短期と中長期の観点で対策を検討していきたい。
知事	草津市と大津市も巻き込んで進めて欲しい。
知事公室長	次世代を担う子どもの観点で、事業としてはみずべのこはあるが、10年度、20年後を見据えて子どもの視点が大事である。子どもや若者の意見をどのように施策に反映していこうとしているのか。
土木交通部長	「子どもの意見反映に関するガイドライン」を参考に進めていきたい。
知事	これまで意見を聞いてないわけではないと思う。みずべのこ、通学路の安全対策、交通ではこれまでも子どもの意見を聞いている。けんせつみらフェスタ、THEシガパーク、防災アプリでも子ども・若者の意見を聞いていけるのではないか。
総合企画部長	高専の造成工事ををよろしくお願いしたい。
知事	造成工事は順調か。大きな問題、困りごとはないか。
用地事業支援課長	すでに工事を発注して、今年度末工事完了を目指している。工事間の調整が大変かもしれないが、今のところ大きな問題はない。
総合企画部長	C02固定コンクリート活用とあるがどのようなものか。
流域政策局長	C02をコンクリートに閉じ込めるもの。廃棄コンクリート殻にゴミ焼却場から排出されるC02を溶け込ませて固めたものを、新たなコンクリートの骨材として使う取組み。万博やラーゴでもこのコンクリートを試行的に使われている。河川工事で使う根固めブロックで使用する取組みを今年から進めてみたいと考えている。
総合企画部長	どれくらい固定できるか測れるものか。
流域政策局長	C02固定量の算定はできると考えている。
総合企画部長	北部振興の観点から余呉地域はどうするのか。移動が困難なエリアでのライドシェアはどのように進めていくのか。

土木交通部長	丹生ダム中止に伴う余呉地域の振興に関しては、国、県、市、水資源機構で「余呉地域の振興に係る全体像」を取りまとめたところ。昨年度、県において地域振興事業への交付金制度を作ったので、これを活用して具体化していきたい。
知事	県が作った交付金はどれくらい使われたのか。
土木交通部長	昨年度当初予算に計上していたが、補正予算で減額し執行していない。
流域政策局長	長浜市と地域との話し合いが整わなかった。今年度は改めて調整する。
交通戦略課	ライドシェアについては、国スポ、障スポの期間中の試行に向けて準備を進めているが、栗東、甲賀、日野、愛荘の4市町における試行を行って終わりではなく、どういった手法であれば実現できるのか、試行の結果を他市町にも情報共有していきたい。甲賀市では、昨年度、バス事業者と協働した公共ライドシェアを試行された。こうした取組も共有して、展開していきたい。
岸本副知事	空き家対策について、時事通信によると北陸で2拠点生活をする人や観光客向けの民泊用として一括管理して、安く提供する事例があるので、そういう視点で北部地域でやってみてはどうか。
住宅課長	そのような事例は聞いていない。家の持ち主の意向もあるので、県として何ができるか考えていきたい。市町の協力も必要になる。
東副知事	管理者不明橋とはどういうものか。
土木交通部長	誰が架けたかわからない橋や、河川工事等をした際に架けられた橋が管理者に引き継がれないままとなっている橋もある。
知事	県内にどれくらいあるのか。
流域政策局長	約2,000橋ある。
土木交通部長	以前は約2,500橋あったが、管理者の特定や橋の撤去により約500橋減らしてきた。
東副知事	居住誘導区域にZEHを普及させていくのか。居住誘導区域はどこが指定するのか。
住宅課長	居住誘導区域で家を建てるとう補助が加算される。市町が居住誘導区域を指定している。
東副知事	全県的に居住誘導区域は設定されているのか。
土木交通部長	市街化区域の中で市町が定めるもの。県内には市街化区域が指定されていない市町もあるので、県が策定した都市計画基本方針において「主な拠点」と定めた地域については居住誘導区域と同様の扱いにしている。

知事	住宅課が盛土規制で苦勞していると聞いている。始まったばかりだが、進めていけそうか。
住宅課長	まだこれからだが、問い合わせは多い。申請は約300件あると聞いている。
技監	上半期の作業量を見て、組織の運営の状況を見て対応を考えていきたい。
知事	今年度の状況を見て、来年度からするのではなく、機動的な対応も含めて、総務部長、考えて欲しい。年度で考えるのが基本であるが、想定を超える業務量なら対応していこう。
知事	<p>パーパスを意識して欲しい。部長からあった5つの柱に沿った形で進めて欲しい。</p> <p>土木の場合は入札契約事務能力の向上等地道だが重要な業務であるので、軽んずることがないように。各分野の人づくりを意識して欲しい。市町や事業者との交渉、用地交渉等、色々な機会を与えて人づくりを進めて欲しい。都道府県職員としてのやりがいにつながるように、もう一段上げて発信できないか。今滋賀県では色々なものが出来上がってきているし、ビックイベントもあるので、そうしたことと絡ませて発信して欲しい。それが人づくり、地域づくりにつながるのではないかな。</p> <p>山手幹線、国道161号、真野・坂本北、栗東水口、国道8号バイパスの次の事業をどうしていくか。歩く人と自転車に優しい滋賀県の道路整備・保全事業を進めていきたい。</p> <p>THEシガパークはいいパンフレットもできたし、駐車場有料化の取組も進めてきた。ぜひ部局横断で色々な取組みを進めて欲しい。自然公園と都市公園でレベル感は異なるが、Park-PFIを取り入れるなど、チャレンジして欲しい。</p> <p>流域治水条例制定から10年が経つ。これまで滋賀県が先行して進めてきたので、次なる課題にも滋賀県が先行して取組む気概が持てるとよい。土木交通部長のミッションとして丹生ダム中止に伴う対応を進めて欲しい。</p> <p>交通はビジョンを策定し、それを実現するための計画と財源づくりを進めている。市町・事業者と共有し、議論をして欲しい。</p>
次長(技術)	<p>これまで部長・各課長が説明した事業を進めるため私は下支えをしたい。</p> <p>知事がおっしゃった人づくりを一生懸命取り組みたい。高い志を持って、やる気に満ちて、業務処理能力が高い職員は滋賀県庁の財産になる。こうした職員を一人でも多く育てたい。年度当初の知事の談話で「失敗してもよいからチャレンジしよう」と仰ったことに共感したので、当部では実践していきたい。</p>